

平成 26 年度決算を認定

9月定例会では、平成26年度決算案件（一般会計、特別会計、企業会計）10件が上程されました。総務委員会と建設経済厚生委員会に分かれて3日間審議を行い、認定しています。

一般会計の決算額は、歳入186億4,420万4,000円、歳出185億1,359万2,000円、翌年度への繰り越し6,906万円を差し引いた実質収支額は6,155万2,000円となっています。

各委員会において、執行者に対し以下のとおり意見・要望が述べられています。

一般会計

ふるさと創造会議

- 各地域の女性ができるだけふるさと創造会議に参加できるように努めていただきたい。

加西市 PR

- 風土記講座、狂言・能について、記録映像等の資料を整備し、今後も図書館等で学べるよう整備していただきたい。
- 窓口業務では職員自身がセールスマンとなり、市内の様々な情報の提供や自慢をするような対応をしていただきたい。

雇用

- 加西に多くの企業や就職先があることを、家族も含めて再認識していただくために、加西リクルート情報誌を市内出身の大学4年生の自宅に送付することを検討していただきたい。

税の徴収

問 税の徴収努力について。

答 中小・零細企業からの特別徴収、口座振替の推進やクレジット収納の検討など、さらに納税の利便性を高めようとしているところです。また、滞納者には電話・文書・訪問等による催告や納税相談を充実させ、軽減・減免措置や納税計画を立てています。担税力がある方への財産調査を行った上で差し押さえするなど、滞納処分についても厳しく実施しているところです。

- 税の公平性の面からも、滞納者の納税相談等について引き続き実施し、回収に努めていただきたい。また、担当職員の負担が非常に大きいため、人員配置について市全体で考えるべきである。
- 国保税の徴収にあたっては、生活困窮の実態や分納状況に配慮しながら、くれぐれも保険証の発行や医療を受けられるように努めていただきたい。

防犯・防災

問 LED防犯灯の設置状況と負担額について。

答 約3,600か所設置しており、市の電気代や地元の取り換え手数料などが削減されています。10年間のリース契約をしており、その間の地元負担はありません。

- LED防犯灯を、通学路や町境など、要望に応じて順次設置していただきたい。

- 震災を想定した図上訓練のみでなく、昨今被害が多く出ている想定外の大雨についても、具体的な予測を含めた避難等について検討していただきたい。

- 災害時には、出役する職員も身の安全を確認しながら行動し、自身が被災することのないよう対応していただきたい。

施設整備

問 老朽化している市営住宅について。

答 新規の募集を停止しており、人の住んでいない建物は早々に撤去する方向で考えています。

- 不審者や不審火などの防犯上の理由や、台風等による倒壊の危険性があることから、撤去を早く進めていただきたい。
- アラジンスタジアムの野球用カウント表示について、現在のBSO方式に変更していただきたい。

生活保護

問 生活保護の状況について。

答 病気・入院による収入の減少を主な理由として、平成25年度から対象者は若干増えており、生活保護費は全体で3億2,000万円程度となっています。

健康づくり・福祉

- 運動ポイント事業は、多くの人が実践できるよう十分にPRや周知をしていただきたい。

- 民間が行っていない重度障がい者に対応した事業を実施するなど、善防園の今後の方向性について議論していただきたい。

- 途中退職して介護を担う男性の中には、悩みを相談できず高齢者の虐待に走ってしまうケースもあるため、心のケアができる施策を実施していただきたい。

- 福祉企画課においては福祉施策の推進・充実を図る企画立案機能を十分発揮していただきたい。

